

わくわく

2019. 5. 28

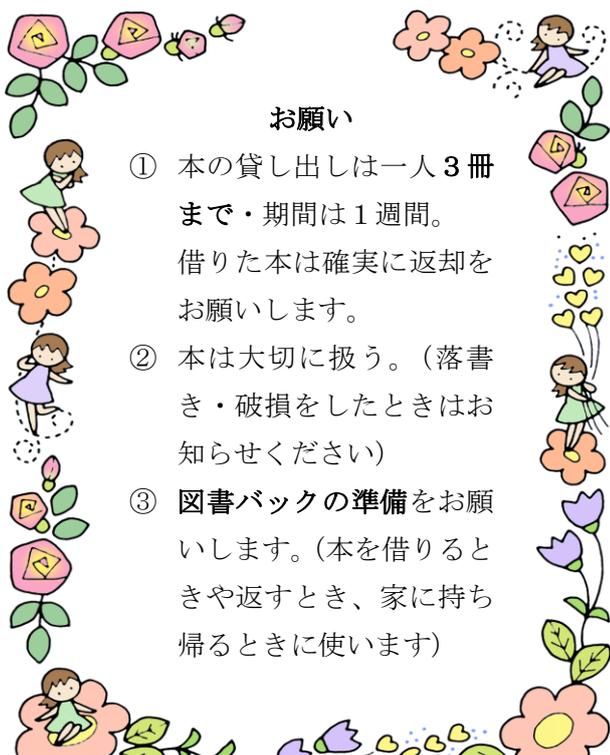
小値賀小学校

学校図書館だより

本年度も図書室の本をたくさん読んでほしいと、図書委員会を中心に、**年間10,000冊の貸出冊数を目標**に読書活動をすすめています。(昨年度は、年間9435冊の貸し出しがありました。) 図書室の本を借りるほかにも、町立図書館を利用したり、自宅で本を購入したりして本に親しんでほしいと思います。

4月23日(火)～5月12日(日)は公益社団法人 読書推進運動協議会による春の行事「こどもの読書週間」でした。今年度は、10連休もあり、本校では、運動会も終わり、落ち着いた雰囲気の中で読書週間を行うため、5月28日(火)～6月10日(月)に読書週間を設定しました。

おいそがしい中ですが、毎日10分間でいいので、本に触れる時間をとってください。また、その中の2日間、ファミリー読書にご協力をお願いします。お子さんに「こどもの読書週間カード」を渡しています。取り組んだ日に色を塗って、6/11(火)に担任まで提出をお願いします。



お願い

- ① 本の貸し出しは一人3冊まで・期間は1週間。借りた本は確実に返却をお願いします。
- ② 本は大切に扱う。(落書き・破損をしたときはお知らせください)
- ③ 図書バックの準備をお願いします。(本を借りるときや返すとき、家に持ち帰るときに使います)

「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)にはじまりました。2000年の「子ども読書年」を機に、現在の4月23日～5月12日の約3週間に期間になりました。4月から5月にかけては、「国際子どもの本の日(4月2日)」「サン・ジョルディの日(4月23日)」などの記念日・関連イベントも多く、また、2001年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」により4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々大きな盛りあがりをみせています。

2019年・第61回こどもの読書週間 標語

「ドは読書のド♪」



こどもの読書週間の取り組み

- ① 家の人(大人)が本を読んで子どもに聞かせる。
- ② 子どもが読んで、家の人に聞かせる。
- ③ 家の人と子どもが同じ本を読む。
- ④ 同じ時間に、違う本をそれぞれ読む。